

海外支援プログラム実験終了報告書

2018年 11月 29日

実験者1 (氏名・所属) : 左右田稔・理化学研究所
実験者2 (*1) (氏名・所属) :
研究代表者 (氏名・所属) : 左右田稔・理化学研究所
中性子散乱課題番号・装置名 : 18546・SANS-U
実験課題名 (*2) : 空間反転対称性の破れた超伝導体のヘリカル磁束格子の観測
利用施設・装置 : PSI・SINQ・SANS1
利用期間 : 2018年 11月 19日 ~ 2018年 11月 26日
実験の概要 (*3) : 反転対称性の破れた超伝導体 LaNiC ₂ における磁束格子の観測を行った。三方向の結晶軸、a-axis、b-axis、c-axis に磁場を印加した場合の磁束格子を観測することに成功した。今後、温度変化等から解析を進める予定である。

(*1) 1人のみ支援を受けた場合は空欄でお願いします。

(*2) 物性研中性子共同利用で採択された課題名です。

(*3) 簡単な記述で構いません。この報告書の提出をもって、旅費が支給されます。また、実験終了後2ヶ月以内に物性研 ISSP-NSL Database (<http://quasi.issp.u-tokyo.ac.jp/db/index.php>)から activity report の提出をお願い致します。